

6) 活動の成果品

TAC-MDFT による活動モニタリング・シート

活動 7-4 住民に対する適切な水利用指導・促進に必要なリーダーシップ能力、参加型計画・評価能力の向上のためのトレーニング（活動所要期間：3 日/サイト × 18 サイト 計 54 日間）

1) 目的

- ① 給水施設の適切な活用と運営・維持管理への利用者の参加を指導・促進するために必要な、VWC メンバーのリーダーシップ、問題分析及び計画策定・管理能力を養成する。
- ② コミュニティ活動の計画・実施におけるジェンダー配慮事項についての理解を促進する。

2) 対象者

対象 18 サイトの VWC メンバー（計 180 名 約 10 名/VWC × 18 サイト）

3) 活動実施担当者及び従事期間

実施担当者	従事期間	担当業務
現地 NGO/コーディネーター(1名)	計 15 日間*	TAC-MDFT メンバーに対する OJT
TAC-MDFT メンバー	計 54 日間	村落レベルでの活動実施主導

*: 5Area Council で各 1 サイト（計 5 日間）を OJT 対象とし、1 サイト 3 日間（計 15 日間）の活動に参加する。その他 13 サイトにおいては TAC-MDFT が OJT にて指導された内容を独自に実施し、現地 NGO は TAC-MDFT 作成の活動モニタリング・シートによりその活動状況を確認する。

4) 活動プログラム案

日程	主な内容	所要時間（目安）
1 日目	1. 当該トレーニングの目的説明・ルールの設定	0.5 時間
	2. 既存給水・衛生環境に関する問題分析及び目的分析のレビュー	1.5 時間
	3. 給水・衛生環境の改善に関わりコミュニティが期待する変化を促進するために想定される VWC の行動	2 時間
	4. VWC の活動実施に際しての村落内及び外部関係機関との調整・コミュニケーション	2 時間
2 日目	1. コミュニケーションの手段、貢献/阻害要因	2 時間
	2. コミュニティ活動における「変化」への抵抗と対応方法	2.5 時間
	3. 水・衛生に関する紛争の解決手段	2.5 時間
3 日目	1. ジェンダー配慮の視点からのコミュニティ活動の計画・実施	2 時間
	2. VWC 行動計画の策定	2 時間
	3. 行動計画のモニタリング・評価	2 時間
	4. 総括・トレーニング評価	1 時間

5) 手法

活動 5 で実施した各対象村落の既存給水・衛生環境に関する参加型問題分析/目的分析の結果を参照し、住民が期待する給水・衛生改善の実現に向けて VWC が取るべき行動計画を検討する。コミュニティの生活環境改善に関する問題・ニーズ分析、解決方法の検討と行動計画策定、モニタリング・評価といった一連のサイクルで活用可能な手法を、行動計画の協議・策定のプロセスで実際に使用し、VWC 自ら計画した内容を自ら実施・管理していく能力の強化・定着を図る。また、VWC メンバーとしてリーダーシップを発揮するために必要なコミュニケーション、紛争解決、ファシリテ

ーションの能力向上に当っては、ケース・スタディやロール・プレイングを取り入れて各参加者が自発的に体験し、考える機会を積極的に設定する。

6) 活動の成果品

TAC-MDFT による活動モニタリング・シート、VWC 行動計画

活動 7-5 水資源の保全・管理に関するトレーニング（活動所要期間：2 日／サイト × 18 サイト 計 36 日間）

1) 目的

給水施設の水源及び公共水栓周辺の衛生環境保全、水の無駄遣い防止と水資源の有効利用を促進するために必要な知識の修得を促進する。

2) 対象者

対象 18 サイトの VWC メンバー（計 180 名 約 10 名/VWC × 18 サイト）

3) 活動実施担当者及び従事期間

実施担当者	従事期間	担当業務
現地 NGO/コーディネーター(1 名)	計 10 日間*	TAC-MDFT メンバーに対する OJT
TAC-MDFT メンバー	計 36 日間	村落レベルでの活動実施主導

*: 5Area Council で各 1 サイト（計 5 サイト）を OJT 対象とし、1 サイト 2 日間（計 10 日間）の活動に参加する。その他 13 サイトにおいては TAC-MDFT が OJT にて指導された内容を独自に実施し、現地 NGO は TAC-MDFT 作成の活動モニタリング・シートによりその活動状況を確認する。

4) 活動プログラム案

日程	主な内容	所要時間（目安）
1 日目	1. 当該トレーニングの目的説明・ルールの設定	0.5 時間
	2. 村落内の水源管理状況の確認	2 時間
	3. 水源及び公共水栓周辺の環境衛生の管理と安全な水供給	1.5 時間
	4. 村落内の水利用ニーズの確認	2 時間
2 日目	1. 用途による水源の使い分けの促進	1.5 時間
	2. 管路計給水施設からの水の不正使用防止のために取り得る措置	2 時間
	3. 水利用規定（案）の策定	2.5 時間
	4. 総括・トレーニング評価	1 時間

5) 手法

活動 5 で作成されたコミュニティ・マップ、ならびに村落内のトランセクト・ウォーク¹の実施により、既存給水施設周辺の環境衛生管理上の問題点を再確認し、安全な水供給を維持する上での水源保全の重要性についての認識を高める。これは、本活動後に開始される参加型衛生教育実施の必要性・重要性に対する、VWC メンバーの理解促進にもつながる。「水源及び施設周辺の衛生環境の保全」、「水資源の保全と有効活用」という二つの視点を考慮して水利用規定を VWC メンバーが起草し、工事開始前までに村落全体の承認を得る。

6) 活動の成果品

TAC-MDFT による活動モニタリング・シート、VWC 草案の水利用規定

¹: 特定のテーマに基づき、当該地域の住民や主要な情報提供者とともに実際に地域内を歩きながら、テーマに関わる生活の実態や習慣等を直接観察したり、見聞したりするプロセスを通して、地域の特性や利用可能な資源、地理的条件の相違による問題や機会等について分析する。

活動8 参加型衛生教育

活動 8-1 地域保健指導員に対する参加型衛生教育手法に関するトレーニング（活動所要期間：給水施設建設対象 Area Council 毎に 5 日 × 5 回 計 25 日間）

1) 目的

- ① 村落レベルで住民を対象とする参加型衛生教育を実施するに当り必要な知識・技術の修得を促進する。
- ② 衛生教育プログラム実施時のモニタリング内容・報告方法について合意する。

2) 対象者

各対象村落から選定された地域保健指導員（計 36 名： 2 名/サイト × 18 サイト）

3) 活動実施担当者及び従事期間

実施担当者	従事期間	担当業務
現地 NGO/コーディネーター(1名)	計 25 日間*	TAC-MDFTメンバーに対する OJT。
TAC-MDFTメンバー	計 25 日間	トレーニングの主導。
地域保健指導員(2名)	計 25 日間	トレーニングの受講。

*:各 Area Council にて管轄地域内の地域保健指導員を集めてトレーニングを実施するため、現地 NGO/コーディネーターは各 Area Council で 5 日間ずつ計 25 日間にわたり、TAC-MDFT メンバーに対し OJT を実施することとなる。

4) 活動プログラム案

日程	主な内容	所要時間（目安）
1 日目	1. 当該トレーニングの目的説明・ルールの設定	0.5 時間
	2. 本プロジェクトにおける地域保健指導員の役割	1 時間
	3. 役割遂行に当たっての「期待」と「恐れ」	1 時間
	4. 対象村落/地域内の既存給水・衛生環境と疾病罹患状況のレビュー	2 時間
	5. 水因性疾患と給水・衛生環境の関係、水因性疾患予防のための感染経路のコントロール、クラスター別適切な衛生習慣（理論）	3 時間
2 日目	1. 参加型衛生教育手法—「水源管理及び水利用と衛生習慣」（理論）	1 日
	2. 同上（演習）	
	3. 手法使用上の問題点のフィードバック	
3 日目	1. 参加型衛生教育手法—「衛生施設利用」「身体の衛生」（理論）	1 日
	2. 同上（演習）	
	3. 手法使用上の問題点のフィードバック	
4 日目	1. 参加型衛生教育手法—「家屋及び家屋周辺の環境衛生」（理論）	1 日
	2. 同上（演習）	
	3. 手法使用上の問題点のフィードバック	
5 日目	1. 対象サイトでの衛生教育プログラム実施スケジュール、モニタリング記録・報告作成方法	2.5 時間
	2. 各対象サイトで特に重点を置くべきポイント、ターゲット	2.5 時間
	3. VWC との協力関係の構築	1 時間
	4. 総括・トレーニング評価	1 時間

5) 手法

地域保健指導員用の参加型衛生教育マニュアルを用い、参加型衛生教育手法の理論の講義とロール・プレイング等を活用した演習を行い、参加型衛生教育促進手法の定着を図る。「水源管理」「水利用」「衛生施設の利用（排泄物の処理）」「個人の身体の衛生保持」「環境衛生の保全」といったテーマを設定し、各テーマに関連した衛生教育用ツールの使用方法を説明することで、対象者や状況に応じた柔軟なプログラム構成を地域保健指導員自身が考えられるよう工夫する。

また、活動 5 を通して明らかになった対象サイト住民の衛生習慣・行動に関する問題点、特に習慣の改善を働きかける必要があるターゲットやトピックについて確認し、各村落での衛生教育プログラム実施に反映できるようにする。

6) 活動の成果品

ワークショップ報告書

活動 8-2 対象村落における衛生教育プログラムの実施（水源及び飲料水の適切な取り扱い、衛生習慣の改善に関する指導）（活動所要期間：2 日（2 回）／月 × Area Council 内での工事实施期間×18 サイト 計 154 日：77 回）

各サイトにおける活動回数は、それぞれの建設工事期間により異なることとなる。各々のサイトでの活動回数は別資料「ソフトコンポーネント工程表」に示す。

1) 目的

- ① 住民自身の参加による分析・問題解決方法の検討・モニタリングを通して、対象サイト住民の適切な衛生習慣の重要性に対する意識を高め、行動変容を促進する。
- ② 給水施設の完成までに継続的に指導を行うことで、当該啓発活動の効果を途切れることなく住民間に波及させ、かつ実際に住民が給水施設を引渡される時には給水施設の利用開始とともにこれまでの啓発活動の効果が「安全な水の利用」及び「効率的な水の利用」の観点から発現することを意図する。

2) 対象者

対象 18 サイトの住民

3) 活動実施担当者及び従事期間

活動 8-1 でトレーニングを受けた地域保健指導員（各 Area Council での工事期間中を通して、毎月 2 回、自身が所属する村落において衛生教育プログラムを実施する。）

実施担当者	従事期間	担当業務
現地 NGO/コーディネーター(1 名)	2 回/各サイト (計 36 日)	<p>【モニタリング】</p> <p>1 回目：活動状況の確認とフィードバック（地域保健指導員が作成するモニタリング・シートの内容比較、活動における参加者の反応の傾向変化を把握するため、地域保健指導員の行う衛生プログラムが少なくとも 2 度以上実施された後、実施する。）</p> <p>2 回目：フィードバック内容の履行確認と指導（1 回目のモニタリング実施後、前述の理由から対象とされる地域保健指導員の衛生プログラムが少なくとも 2 度以上実施された後、実施する。）但し、実施に際しては第 2 回目モニタリングの実施が当該サイトでの建設工事期間の前半に行われたり、現地 NGO/コーディネーターが短期間に複数のサイトをモニタリングすることがない様な日程を TAC-MDFT メンバーと調整の上、設定する。</p>
TAC-MDFT メンバー	1 回/月/サイト	地域保健指導員の活動実施状況のモニタリング・指導
地域保健指導員(2 名)	各 2 回/月	衛生プログラムの実施

4) 活動プログラム案

日程	主な内容		所要時間（目安）
	地域保健指導員 (かつこ内はモニタリング時)	現地 NGO/コーディネーター のモニタリング	
1 日目	—	TAC-MDFT メンバーと活動モニタリング・シートの確認・協議	0.5 時間
2 日目	1.衛生に関する重点トピックと関連するターゲット・グループの選定を参加者と共に実施	1.左記活動の実施状況のモニタリング	0.5 時間
	2.選定されたトピックに関する問題分析の実施	2.同上	1.5 時間
	3.問題が解決された状態を検討する目的分析の実施	3.同上	1.5 時間
	4.解決のための具体的行動の策定	4.同上	1.5 時間
	(5.現地 NGO/コーディネーターからのフィードバック)	5.地域保健指導員に対するフィードバック	1.0 時間
	—	6.TAC-MDFT メンバーに対して地域保健指導員の活動実施状況のモニタリング・指導に関するフィードバック	1.0 時間

5) 手法

参加型衛生教育用ツールを活用し、参加者自身が主体的に考え、決定するプロセスを尊重する。各回の衛生教育の対象者やトピックに関しては、活動 8-1 で確認した重点トピック、ターゲット・グループを参考としつつ、各回で提起される問題や関心領域に応じて、地域保健指導員が参加者と相談して決めていく。活動毎に地域保健指導員は活動内容、取り上げたトピック、使用した手法、参加者の反応等をモニタリング・シートに記録し、以下の活動 9 での MDFT メンバーの村落訪問時に提出する。

6) 活動の成果品

地域保健指導員による活動モニタリング・シート

活動 9 給水施設の日常の保全、防犯、運営・維持管理費の定期的な支払いについての住民参加促進（活動所要期間：1 日／月 × 各 Area Council における工事実施期間。計 77 日：77 回）。

建設工事期間が各サイトでことなるため、各サイトでの総活動回数は異なる。詳細はソフトコンポーネント行程表を参照。

1) 目的

- ① VWC が策定した行動計画に基づき、住民による給水施設のオーナーシップ意識の醸成、運営・維持管理への参加促進・責任事項の履行を促す。
- ② 給水施設建設工事期間中の村落側からの協力事項（建設用資材の保管・防犯、労働力提供等）の実施及び運営・維持管理費の積立を促進する。
- ③ VWC による住民参加促進活動の実施状況についてモニタリング・指導を行う。給水施設の完成までに継続的に指導を行うことで、当該啓発活動の効果を途切れることなく住民間に波及させ、かつ実際に住民が給水施設を引渡される時には給水施設の利用開始とともにこれまでの啓発活動の効果が発現することを意図する。

2) 対象者

対象 18 サイトの住民

3) 活動実施担当者及び従事期間

実施担当者	従事期間	担当業務
現地 NGO/コーディネーター(1名)	計 5 日間*	TAC-MDFT メンバーへの OJT
	2 回/各サイト (計 36 日)	【モニタリング】 1 回目：活動状況の確認とフィードバック（VWC 作成の活動報告、モチベーター作成のモニタリング・シート等の確認において、内容比較、住民の反応の傾向変化を把握するため、VWC の行う活動が少なくとも 2 度以上実施された後、実施する。） 2 回目：フィードバック内容の履行確認と指導（1 回目のモニタリング実施後、前述の理由から対象とされる VWC の活動が少なくとも 2 度以上実施された後に実施する。）但し、実施に際しては第 2 回目モニタリングの実施が当該サイトの建設工事期間の前半に行われたり、現地 NGO/コーディネーターが短期間に複数のサイトをモニタリングすることとなったりしない様な日程を TAC-MDFT メンバーと調整の上、設定する。
TAC-MDFT メンバー	1 回/月/サイト	VWC の活動実施状況のモニタリング・指導
VWC	1 回/月/サイト	当該村落内でのプロジェクトへの住民参加促進

*: 5Area Council で各 1 サイト（計 5 サイト）を OJT 対象とし、1 サイト 1 日間（計 5 日間）の活動に参加する。その他 13 サイトにおいては TAC-MDFT が OJT にて指導された内容を独自に実施していき、現地 NGO は TAC-MDFT 作成の活動モニタリング・シート（VWC による活動報告を含む）によりその活動状況を確認する。

4) 活動プログラム案

日程	主な内容		所要時間（目安）
	VWC (かっこ内はモニタリング時)	現地 NGO/コーディネーター	
1 日目	—	モチベーターの活動モニタリング・シート (VWC の活動報告を含む) の確認・協議	0.5 時間
2 日目	1. 住民集会における工事進捗のフィードバック	1. 左記活動の実施状況のモニタリング	0.5 時間
	2. 運営・維持管理費積立状況等会計報告	2. 同上	0.5 時間
	3. 村落側協力事項の決定・その進捗状況の報告	3. 同上	1.0 時間
	4. 今後の具体的行動の策定	4. 同上	1.0 時間
	(5. 現地 NGO/コーディネーターからのフィードバック)	5. VWC に対するフィードバック	1.0 時間
	—	6. TAC-MDFT メンバーに対して VWC の活動実施状況のモニタリング・指導に関するフィードバック	1.0 時間

5) 手法

VWC は毎月 1 回程度、住民集会の場でコミュニティに対し工事進捗状況のフィードバックを行うとともに、村落側からの協力事項の実施について住民の参加を要請する。また、運営・維持管理費の積立状況について会計報告を行う。MDFT メンバーは VWC が作成する活動記録を訪問時に受領し、モニタリング・シートとともに現地 NGO/コンサルタントに提出する。現地 NGO/コンサルタント要員は、当該活動実施期間中に、対象サイトを訪問した際、モチベーターから提出される報告と実際の活動実施状況の確認を行う。

6) 活動の成果品

TAC-MDFT による活動モニタリング・シート（VWC による活動報告を含む）